

【単年度事業評価様式】

緑区地域子育て支援拠点事業
令和6年度重点目標評価結果・令和7年度重点目標

事業実施期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日(4年度目／5か年度)
事業の実施者	NPO法人グリーンママ 緑区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 緑区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和6年度重点目標の評価

令和6年度重点目標	子育て家庭をあたたく見守る地域ネットワークを広げていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援連絡会を地域ケアプラザ単位で行い地区ごとの支援者、関係機関同士が子育て支援について話す機会を増やします。 ・サテライトの開設において多様な養育者が来所しやすい居心地の良いひろば作りをしていきます。 ・養育者自身が主体的に子育て支援拠点を活用し、子育てを楽しめるようになる場をつくっていきます。
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり子育て支援連絡会」地区別会議の事務局を地域ケアプラザ・区・拠点で担い、7地区で実施しました。地区ごとの状況や課題を共有することができました。 ・拠点と地域ケアプラザで共催し各地区で公園遊びを行い、子育て世代が地域の方とつながる機会を増やしました。 ・いっぽサテライトでは、1・2階をひろばとして開放し自由に行き来できるようにしています。利用者にとって過ごしやすい場所を選べるようにしました。 ・プログラム「みんなのしゃべりば」の企画やグループ活動など、養育者が主体となって参加できる活動を拠点内や地域に増やしました。
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「みどり子育て支援連絡会」全体会では、7地区の取り組みについての報告が中心になっており、緑区が子育てしやすいまちとなるような検討ができる機会に至っていない。

次年度重点目標

令和7年度重点目標	子育て家庭をあたたく見守る地域ネットワークを広げていきます。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①「みどり子育て支援連絡会」地区別連絡会を7エリアで継続実施します。全体会では緑区が子育てしやすいまちとなるよう意見交換を行います。 ②妊娠期の方や、外国籍の親子など、どんな人でも来やすい拠点になるよう工夫し、拠点や、地域の子育て資源につながるきっかけをつくっていきます。 ③養育者自身が主体的に子育て支援拠点を活用し、子育てを楽しめるようになる場をつくっていきます。 ④拠点の7つの機能を通して、子育て世帯が地域とつながりがもてるようにしていきます。